

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和6年06月17日(月)

事務事業		「論語の里」施設管理活用事業		担当課	渋沢栄一記念館	担当係	渋沢栄一記念館	管理番号	15131	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり	根拠法令 個別計画等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、深谷市文化財保護条例、「渋沢栄一翁と論語の里」整備活用計画					
	小項目	4	渋沢栄一の顕彰と精神の継承							
	主要プロジェクト	1	渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト							
事業概要		「論語の里」エリア内に所在する文化財施設（旧渋沢邸「中の家」、尾高惇忠生家）の維持管理を行い、保存、継承し、見学者に公開するなど活用を図るものである。								
目的 ※何のために		施設を維持管理し、保存、承継する。「論語の里」文化財施設の環境を整え、安全、快適に見学に提供する。								
対象 ※誰・何を対象に		旧渋沢邸「中の家」、尾高惇忠生家、施設見学者								
手段 ※どのように		施設維持管理委託、施設清掃、巡回警備、樹木管理委託、修繕・改修工事								
成果 ※何を求めるか		郷土の偉人を生かした取組が推進されるよう、市内外の人が郷土の偉人の業績に触れ、市の魅力を感じとり、論語の里エリアをはじめ深谷市への来場者数が増加する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	5	文化財費	論語の里施設管理活用事業〔渋沢栄一記念館〕	111,905,118
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	5	文化財費	論語の里施設管理活用事業〔建築住宅課〕	234,806,390
本事業の 主な業務		・旧渋沢邸「中の家」、尾高惇忠生家の維持管理、修繕							・	
		・旧渋沢邸「中の家」、尾高惇忠生家の公開							・	
		・論語の里ガイドボランティアとの調整							・	
		・旧渋沢邸「中の家」主屋の構造補強及び改修工事							・	
		・文化振興課との連絡調整							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		施設の維持管理 旧渋沢邸「中の家」主屋の補強改修工事 旧渋沢邸「中の家」主屋展示整備	施設の維持管理 旧渋沢邸「中の家」主屋の補強改修工事 旧渋沢邸「中の家」主屋展示整備・運用				
事業費	予算（現額）	329,591,000	349,958,000	52,682,000	49,812,000		
	決算額	155,885,646	346,711,508	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	11,520,000	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	72,200,000	198,300,000	0		
		他特定財源	20,518,247	11,811,000	23,355,000		
		一般財源	63,167,399	42,847,991	29,351,000	26,457,000	
人件費	従事職員数（人）	1.40	1.60	1.70	1.70		
	人件費相当試算※	11,017,380.00	12,816,264.00	14,213,530.00	14,213,530.00		
総事業費試算		166,903,026	359,527,772	66,895,530	64,025,530		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値 実績値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	旧渋沢邸「中の家」修繕件数	目標値	件						
		実績値		5.00	10.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		必要箇所の発生に応じて実施するものであるため、あらかじめ目標値は設定しない。						
	実績値の算出式								
活動指標 2	尾高惇忠生家修繕件数	目標値	件						
		実績値		2.00	5.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		必要箇所の発生に応じて実施するものであるため、あらかじめ目標値は設定しない。						
	実績値の算出式								
活動指標 3	エリア環境の整備（駐車場・ 標識・解説板）	目標値							
		実績値		11.00	18.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		必要箇所や不足状況の発生に伴い設置するものであるため、あらかじめ目標値は設定しない。						
	実績値の算出式								
成果指標 1	旧渋沢邸「中の家」見学者数	目標値	人	30,000.00	30,600.00	31,212.00	31,212.00	31,212.00	31,212.00
		実績値		33,247.00	56,425.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度比2％増。但し令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止策のため見直し						
	実績値の算出式								
成果指標 2	尾高惇忠生家見学者数	目標値	人	8,000.00	8,160.00	8,323.00	8,323.00	8,323.00	8,323.00
		実績値		16,520.00	14,223.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度比2％増。但し令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止策のため見直し						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	旧渋沢邸「中の家」や尾高惇忠生家について、修繕が必要な箇所が発生に対して、適正な修繕を実施することができた。 論語の里エリアにおける駐車場、標識、解説板について、日頃から不具合がないか確認することに努め、必要なものを修繕、設置することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	旧渋沢邸「中の家」は令和5年8月にリニューアルオープンし、来場者数が増加した。来館予約システムによって入場者数等の把握による管理を行うことで、旧渋沢邸「中の家」、尾高惇忠生家とも目標値を大幅に上回る見学者数となった。
			評価者 渋沢栄一記念館 館長補佐 馬場 裕子

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	旧渋沢邸「中の家」、尾高惇忠生家、両施設の維持管理業務について、各作業を業務委託により実施することで、効果的な運用ができた。 尾高惇忠生家のガイドについては、ガイドボランティアとの協働により、丁寧な解説等を提供することができた。
			評価者 渋沢栄一記念館 館長補佐 馬場 裕子

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	旧洪沢邸「中の家」については、主屋耐震改修工事が終了ののち、令和5年夏の公開に向けて、準備を進めていく。 尾高惇忠生家については、見学環境を引き続き継続し、公開などの活用を図っていく。
達成状況及び その効果	旧洪沢邸「中の家」については、主屋耐震改修工事が終了し、令和5年8月よりリニューアルオープンし、多くの来場者を迎えることができた。 また、尾高邸についてはガイドボランティアによる市民協働での活用も実現できた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	「論語の里」施設管理活用事業	担当課	洪沢栄一記念館	担当係	洪沢栄一記念館	管理番号	15131
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		旧洪沢邸「中の家」については、主屋耐震改修工事が終了し、令和5年8月よりリニューアルオープンし、多くの来場者を迎えることができた。 また、尾高惇忠生家についてはガイドボランティアによる市民協働での活用も実現でき、基本的にこの体制で運用を継続することが望ましい。 尾高惇忠生家については、見学環境を引き続き継続し、公開などの活用を図っていく。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	洪沢栄一記念館館長 栗田 誠				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	旧洪沢邸「中の家」については、引き続き、スムーズな公開が運用できるよう、委託業者と連携していく。尾高惇忠生家については、見学環境を引き続き継続し、公開などの活用を図っていく。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	新一万円札発行後は、旧洪沢邸「中の家」、尾高惇忠生家とも見学者の増加が見込まれるため、よりよい見学環境に向けて、環境整備を進めていく。

8. 評価指標グラフ

